

家 田 仁 教授

Academic Year 2017 (2017.4.1~2018.3.31)

役 職：公共政策プログラムインフラ政策コース・ディレクター，防災学プログラム・ディレクター，Disaster Management Policy Program 副ディレクター

専門分野：国土学・都市学・交通学

学 位：工学博士（東京大学）

略 歴：1978年 東京大学工学部土木工学科卒業、同年日本国有鉄道入社

1984年 東京大学助手

1986年 東京大学助教授

(1988-1989年 西ドイツ航空宇宙研究所客員研究員、1993-1994年 フィリピン大学客員教授 (JICA 長期専門家) として東京大学より派遣)

1995年 東京大学教授

(2008年 中国清華大学客員教授として東京大学より派遣)

2014年 政策研究大学院大学と併任

(2016年 中国北京大学客員教授として政策研究大学院大学より派遣)

2016年3月 東京大学を定年退官。政策研究大学院大学専任

1. 業 績 (A)

(1) 雑誌論文 (共 著)

- * 帆足元, 家田仁, 「日本の高速道路におけるインターチェンジ設置間隔に関する分析的
研究」交通工学論文集 Vol. 3, No. 4, p.A_54-A_63, 2017

(2) 学会発表

- * 澤部智子, 家田仁, 柳沼秀樹, 「暴風雪を考慮した北海道における道路ネットワークの
防災機能評価」土木学会全国大会 第72回年次学術講演会IV-124, 2017.9
- * 佐藤良介, 家田仁, 「新幹線駅へのアクセス交通としての高速バスの現状と今後の方向
性」土木学会全国大会 第72回年次学術講演会IV-048, 2017.9

2. 業 績 (B)

(1) 書評・解説等

- * 家田仁 (インタビュー) メンテナンスの「進化」に向けて (特集・強いインフラをつく
る) : JR EAST 2017年6月 pp.4-8, 2017.6 (株) ジェイアール東日本企画
- * 家田仁 (総説) インドの経済躍進とわが国のインフラ輸出~多様性の社会を背景として
~ [担当編集委員]: 運輸と経済 第77巻 第8号 pp.2-7, 2017.8 (一財) 運輸調
査局
- * 家田仁 (総説) 「地下鉄の創成と世界展開を俯瞰する ~ニッポンの地下鉄誕生 90 周年
にあたって~」 [担当編集委員]: 運輸と経済 第77巻 第10号 pp.2-13, 2017.10
(一財) 運輸調査局
- * 家田仁 (書評) インフラストラクチャー概論 (中村英夫: 編著、長澤光太郎・平石和
昭・長谷川専: 著) : 運輸と経済 第77巻 第10号 pp.188, 2017.10 (一財) 運
輸調査局

- * 家田仁「国鉄改革から 30 年。変わったのは何か？」(JR30 年特集) : 日本鉄道施設協会誌 2017.12 Vol.55 pp.2-6 (社) 日本鉄道施設協会
- * 家田仁「国鉄改革から 30 年:そして次の 30 年は?~鉄道マーケットの将来性と技術の役割~」: JREA Vol.61, No.1 pp.4-7, 2018.1 (一社) 日本鉄道技術協会
- * 家田仁「『三〇年』という時間」: 計画・交通研究会会報 2018-1 pp.12 (一社) 計画・交通研究会
- * 家田仁「『予めご了承下さい』が嫌いだ!」: JR 経営情報 No.343 (2018.1.5) pp.3-5, (一財) 交通経済研究所
- * 家田仁「リアリティの逆襲 ~『旅』世界の再構築に向けて~」: 観光文化 236 号 pp.1 2018.1 (公財) 日本交通公社
- * 家田仁(特集総説)「震災復興を考える—前進、懸念、そして原点—」: 土木施工 Vol.59, No.3 pp.12-13, 2018.3 (株)オフィス・スペース

(2) その他

- * 家田仁(コメント)リニア中央新幹線 名古屋駅に関して:「リニア新世紀 名古屋の挑戦」 奥野信宏・黒田昌義著、pp.111-112、2017.7 (株)ディスカバー・トゥエンティワン
- * 家田仁「4 年目を迎えた『産学協働・留学生サマーセミナー:日本のインフラと産業社会を学ぶ』—インフラ・システムの海外展開を見据えて—」: 土木学会誌 Vol.102 No.6, pp.62-65, 2017.6
- * 家田仁(事業報告・活動報告)計画交通研究会運営 5つの基本戦略:計画・交通研究会会報 pp.2-4 2017-7 (一社) 計画・交通研究会
- * 家田仁(コラム)土木のアラムナイ (ファン・レ・ビンさんについて): 土木学会誌 Vol.102 No.8, pp.41, 2017.8
- * 家田仁 第 5 回留学生サマーセミナー「水と大地」開催される(産学協働留学生サマーセミナー連絡協議会 活動報告): 計画・交通研究会会報 pp.11 2017-9 (一社) 計画・交通研究会
- * 家田仁「日本の大学で学ぶ留学生に向けた産官学コラボの取り組み『日本の社会基盤(インフラ)に関する留学生のための特別サマーセミナー』の開催」: 国土交通 No.147 (2017.12-2018.1)、pp.22-23、2017.11 国土交通省
- * 鼎談:家田仁、斎藤峻彦、山村明義「ニッポン地下鉄:その始まりとこれからを語る! ~東京と大阪を題材にして~」: 運輸と経済 第 77 巻 第 10 号 pp.30-37, 2017.10 (一財) 運輸調査局
- * 座談会(コーディネーター):家田仁、石川幹子、岸井隆幸、中井検裕、中井祐「東北復興を俯瞰する—その成果と課題、そして将来の災害に向けて—」: 土木施工 Vol.59, No.3 pp.46-57, 2018.3 (株)オフィス・スペース

3. 助成金等による研究

- * 奨学寄附金:東海旅客鉄道株式会社、東京急行電鉄株式会社

4. 教育

(1) 講義

- * 地域活性化と都市再生（秋学期）
- * Infrastructure and Regional Development: Lessons from the Past（Spring）
- * Disaster Management Policies A: from Regional and Infrastructure Aspect（Fall）
- （2）演習
 - * 開発政策特論（春前期）
- （3）論文指導
 - * 公共政策プログラム（インフラ政策コース）：修士課程 10 名（主指導 4 名（うち 3 名学位取得）、副指導 6 名（うち 4 名学位取得））
 - * 公共政策プログラム（防災・危機管理コース）：修士課程 4 名（主指導 1 名、副指導 3 名）※学位取得
 - * まちづくりプログラム：修士課程 3 名（副指導）※学位取得
 - * Disaster Management Policy Program：修士課程 6 名（副指導）※学位取得
- （4）研修事業
 - * 課題解決型のシアターマネジメントに向けた次世代リーダー育成のためのプログラムの開発
- （5）その他
 - * 自主ゼミ「昼塾」：希望する学生（約 20 名）を対象に毎週昼休みにディスカッションゼミを開催。
 - * GRIPS「国際都市研究学院」講義（4 月 19 日（水）18:30～19:50、20:00～21:20、5 月 12 日（金）伊香保にて 午前午後 5-6 時間）
 - * 日本で勉学する留学生を対象とした「留学生サマーセミナー」の実施（2 回）
 - 『水と大地』（2 泊 3 日）（2017 年 8 月）東京大学、日本工営、メタウォーター、管清工業、サントリー、国交省と共同。
 - 『大都市の鉄道と地域開発』（1 泊 2 日）（2017 年 9 月）東京大学、長岡技大、JR 東日本、東急電鉄、三井不動産、東京メトロ、国交省と共同。

5. 管理・運営への関与

委員会

- * 修士課程委員会
- * 博士課程委員会
- * 修士課程 公共政策プログラム インフラ政策コース・コミティー
- * 修士課程 公共政策プログラム 防災・危機管理コース・コミティー
- * 防災学プログラム・コミティー
- * Disaster Management Policy Program Committee

6. 社会的貢献（A）

（1）国および地方公共団体における活動

① 審議会等

- * 国土交通省：社会資本整備審議会（道路分科会長他）、交通政策審議会（航空分科会長、陸上交通分科会長他）、国土審議会 委員
- * 環境省：中間貯蔵施設への除去土壌等の輸送に係る検討会 委員

- * 復興庁：福島 12 市町村の将来像に関する有識者検討会 委員
- * 大船渡市：復興計画推進委員会 委員
- * 静岡県防災・原子力学会 地震・火山対策分科会委員
- ② その他
- * 日本学術会議 土木工学・建築学委員会 インフラ健全化システム分科会 副委員長
- * 日本学術会議 土木工学・建築学委員会 低頻度巨大災害分科会 委員
- (2) 他大学・研究所等における活動
- ① 非常勤講師，研究員等
- * 日本大学 土木計画学特論（夏・冬学期 各 4 回 90 分/回）
- ② その他
- * 長崎県立大学 地域創造学部公共政策学科 特別講義「国土と人間の営為～プロジェクトから理念と価値観を読み取る～」(12 月 21 日)
- (3) 企業，財団法人等における活動
- * (一財) 地域公共交通総合研究所 理事
- * (公財) アジア成長研究所 外部評価委員
- * (一社) 計画・交通研究会 会長
- * (公財) 日本交通公社 専門委員
- * (公財) 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 交通輸送技術検討会 座長
- * (公財) 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 街づくり・持続可能性委員会委員
- * (独法) 国際協力機構 アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト・フェーズ 4 に係る国内支援委員会委員
- (4) 学会等における活動
- * (公社) 土木学会「社会インフラ維持管理・更新特別委員会」委員

7. 社会的貢献 (B)

- (1) ジャーナリズムを通じた発言
- * 家田仁 (コメント) 「地盤情報共有化」国民の財産：建設通信新聞 2017 年 7 月 10 日付 (第二部) 地盤特集 2017
- * 家田仁 (インタビュー) ますます重要になる防災視点での道路づくり：神奈川新聞 2018.3.10 付
- * 家田仁 (インタビュー) マネジメントサイクルの確立へ (特集・管路管理)：日本下水道新聞 2018.3.14 付
- (2) 講演会，座談会，会議出席
- * シンポジウム：日本学術会議主催 公開シンポジウム「地質地盤情報の共有化を目指して —安全安心で豊かな社会の構築に向けて—」日本学術会議 土木工学・建築学委員会 インフラ健全化システム分科会 副委員長として 2017 年 4 月 27 日、東京
- * 研修協力：北京大学 現代日本研究センター博士 第 12 期訪日研修「東京駅見学及び交流会」AP 東京丸の内、及び東京駅 2017 年 5 月 10 日
- * 特別講演：PC 建設業協会定時総会『社会資本整備と「共助」の役割』2017 年 5 月、東

京

- * 講演：港湾学術交流会 「将来に向けた港湾政策の諸論点～港湾中長期ビジョンを題材にして～」2017年6月、東京
- * 特別講演：市町村職員中央研修所（市町村アカデミー）市町村長特別セミナー 持続性ある地域づくりに向けて【地域交通を守り、地域を活性化させるために】
「社会資本と『共助』の役割」2017年7月10日、千葉
- * 特別講演：日本工営 NK グループ技術交流会 2017 特別セッション【多様性が生み出す価値】「多様性と人材力」2017年7月13日、東京
- * 総合司会：地域公共交通総合研究所 第5回シンポジウム
「地域のモビリティをどう確保するか？～地方創生に向けた公共交通を含む諸方策の新たな総合的展開～」2017年8月9日、東京（GRIPS）
- * 講師：国土交通大学校 平成29年度専門課程 建設技術政策実践（実務管理者級）研修「ストック効果（事例研究）全体討議」2017年10月、東京
- * 講演：日台防災協力セミナー<セッション2 防災技術の研究開発と普及>
「巨大災害は日本の社会システムをどのように進化させてきたか」2017年10月、高雄大学（台湾高雄市）
- * パネリスト：第32回日本道路会議 集中討議セッション「防災機能評価」2017年10月、東京
- * 講演・モデレーター：高速鉄道会議 ワーキングセッション1
Development Strategy of HSR、 講演「Development of Strategy of High Speed Railway」
2017年11月1日、名古屋
- * 基調講演：平成29年度国土計画研究交流会「地域のモビリティと活力をどう確保するか」2017年11月、東京
- * 講演：鉄道建設調査会 例会「国鉄改革から30年：新幹線を中心に時代の変遷を読む」
2017年11月、東京
- * 講話・パネリスト：小浜市シンポジウム—高速交通時代と若狭路地域づくり—広域交流時代と関西・若狭—「多様化する新幹線の機能と総合的取り組みの重要性」2017年11月、小浜市
- * 基調講演・パネリスト：地下鉄開通90周年記念シンポジウム 「地下鉄の創成と世界展開を俯瞰する ～ニッポンの地下鉄誕生90周年にあたって～」パネルディスカッション：「地下から」未来を見出す 2018年1月、東京
- * 趣旨説明、パネルディスカッションコーディネーター：「大災害に道路ネットワークはどう備えるか？ ～道路防災機能評価の新たな展開～」 （土木計画学ワンデイセミナー No.92）2018年2月、高松サンポート合同庁舎
- * 鼎談：シンポジウム「中部圏の対流促進と観光地域づくり」第1部 鼎談「中部圏の対流の促進・新たな地域の創造」（奥野信宏氏・名古屋都市センター長、山崎まゆみ氏・跡見学園女子大学兼任講師）2018年2月、名古屋
- * 講演：Regional EST Training Course on “Railways as the Low-Carbon and Sustainable Transport Development Solutions in Achieving Safe, Inclusive, Efficient and Resilient Communities under the 2030 Agenda for Sustainable Development” （セッション:High Speed Railways/Inter City Railways） 講演タイトル：Development Strategy of High Speed

Railway2018年2月、国連大学

* 講演：西日本スーパーメガリージョン勉強会 2018年3月、近畿地方整備局（大阪合同庁舎）